

銀河レポート401

No.66
11月号

発行日：令和2年11月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700

そらんぼ四日市

検索

11月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

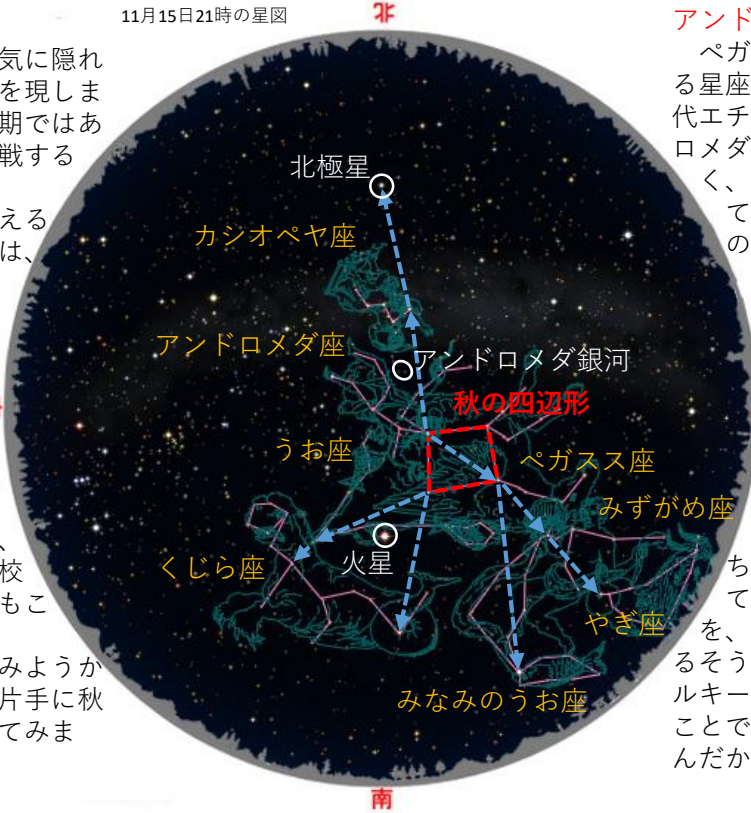
11月15日21時の星図

秋の四辺形で星座を探そう

空気が乾燥してくると、湿気に隠れて見えなかった淡い星々が姿を現します。秋は明るい星が少ない時期ではありますが、少し暗い星座に挑戦するチャンスです。

まずは空の高いところに見える四角形を探しましょう。これは、秋の星座探しの目印、秋の四辺形です。秋の四辺形のそれぞれの星を繋いで伸ばしていくと、たくさんの星座が見つかります。例えば、東側の二つの星を繋いで北に伸ばしていくと、カシオペヤ座の星が見つかります。そこからさらにまっすぐ伸ばしていくと、見えてくるのが北極星。小学校の教科書に出てくる星や星座もこれだけでばっちりです。

「今日はどんな星を探してみようかな」と悩んだ時には、星図を片手に秋の四辺形を思い思いに伸ばしてみましよう。



アンドロメダ座

ペガサス座の後ろ足のよう伸びる星座が、アンドロメダ座です。古代エチオピアのお姫様であるアンドロメダは、秋の星空のヒロインらしく、腰の部分に綺麗な飾りをつけています。これは、天の川銀河の隣の銀河、アンドロメダ銀河です。空気の澄んだところなら、肉眼でもそのぼんやりとした姿をとらえることができます。

ミルコメダ銀河！？

アンドロメダ銀河は、今から40億年後、天の川銀河と衝突合体するとされています。ちなみに、二つの銀河が合体して出来る巨大な楕円銀河の名前を、ミルコメダ銀河と呼ぶ人もいます。天の川銀河の英語名ミルキーウェイ+アンドロメダということでミルコメダだそうですが、なんだか美味しそうな名前ですね。

11月のガリレオ教室

はやぶさ2の今

小惑星探査機はやぶさ2が、12月に地球に帰ってきます。はやぶさ2のミッションは小惑星リュウグウからのサンプルリターン。現在までのミッションについて天文ボランティアが解説します。

日時：11月8日(日)

①11:00~11:20

②14:00~14:20

場所：5階 コズミックラウンジ
料金：無料 定員：20名



想像図：JAXA

2020年ノーベル物理学賞！！

今年のノーベル物理学賞は、昨年に引き続き、二年連続天文学分野での受賞となりました。このように同じ分野での受賞が続くのは異例のことです！！

ブラックホールの形成の証明、銀河中心の超巨大ブラックホールの観測に関して、3名が受賞しました。昨年のブラックホール観測のニュースに引き続き、想像もつかないような未知の天体は、いつも私たちをワクワクさせてくれます。

銀河中心ブラックホールの想像図：NASA



スターウォッチング報告

カメラを使った観望を開始！

感染症拡大防止の観点から、望遠鏡のレンズを直接覗く観察はさらら号のみとなっていました。そこで10月から、カメラを利用して天体の様子を観察する、電子観望を開始しました。

見ごろの惑星たちを、限られた時間の中で楽しんでいただくためにも、電子観望の機会を増やしていきます。



パソコンで木星を観察

★★観望会★★

《博物館主催さらら号観望会》

日時：11月28日(土)

時間：17:00~18:30

場所：博物館前市民公園

内容：月と3惑星を見よう



- ※天候不良時は中止です。
- ※当日受付・参加無料です。
- ※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。

11月の月

8日  下弦

15日  新月

22日  上弦

30日  満月

編集後記

星を見るため外に出ようとしても、お布団やコタツという温かいブラックホールに負けてしまう時期になりました。そんなときこそホットな天文学の分野で盛り上がりたいたいものです。はやぶさ2の帰還、最新のブラックホール観測など、興味の湧くところから本を読んでみませんか。